

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 2 年 3 月 12 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3471503361		
法人名	医療法人 三宅会		
事業所名	グループホーム新涯		
所在地	〒721-0955 広島県福山市新涯町三丁目14-7 084-981-1117		
自己評価作成日	令和2年2月7日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3471503361-00&ServiceCd=320
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和2年2月21日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>利用者様に寄り添い楽しく過ごせる雰囲気を創る。 笑顔の絶えない家族的な雰囲気のホームを目指す。 地域交流に積極的に参加し溶け込み協力しあえるホームでありたい。 防災、防火など災害に備えた訓練や地域連携を念頭に入れた訓練をする。 三宅会グッドライフ病院と連携した医療体制のもと、安心・安全な生活を送って頂く。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>地域との関わりを意識し交流を多く持ち地元根差した活動、運営を行っている。地域の夏祭りや敬老会、ふれあいフェスタへ参加し作品出展するなど地域行事に積極的な参加をしており、町内会に加入し回覧板での地域の案内を共有し、地域清掃や年末の夜回りの協力、日頃の散歩での挨拶や近所住民や民生委員からは野菜を頂いたりと日常的な交流や関わりが密にある。町内の防災訓練に参加するなど地域連携を念頭にした災害に対する備えを構築している。法人の母体病院の医療体制を中心に、訪問看護との連携により安心して医療が受けられる環境も特色である。利用者も日々の活動や食事の準備などできることに視点を置き、個人に寄り添う支援を実践しており、利用者は日々の活動に役割を感じ楽しみとして頂けるよう工夫している。</p>
--

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念を玄関、事務所に掲げ、理解するよう職員は心掛けております。	今年度より接遇、教育機会・研修、行動のスピード感それぞれNo1をビジョンに掲げ取り組んでおり、事業所年間目標「利用者の思いや考え方を理解し行動する」を策定し、年度末には振り返りを行い職員の資質、サービスの向上に取り組んでいる。日々の実践の中で理念に添った支援になっているか内容も議論し、日常から意識し努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の行事に積極的に参加、町内会にも参加し交流を図っています。	町内会に加入し回覧板にて地域情報を共有している。夏祭りや子供神輿の訪問、文化祭に利用者作品の出展など地域の様々な行事やイベントに参加があり、公民館で行われるくわいカフェにも出掛け交流を深めている。ピアノやフルート、フラダンスのボランティアの来所も毎年の利用者の楽しみとして定着している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議等を通じて認知症の理解や支援への方法を共有しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議に市の職員、町内会長、民生委員、ご近所様、ご家族様に参加してもらい、施設の情報発信、アドバイスを受けております。	会議には市の職員や家族、近所の方の参加があり事業所の運営や活動報告を行っている。アクシデント・インシデントの報告は資料にグラフなども交え詳細な報告がなされている。来客用の駐車場がないことの意味に駐車場を確保し改善したことで家族も事業所に来所し易くなったなど、効果が得られた事例がある。	会議の参加者において各関係者の偏りの傾向が伺えます。会議の開催日時決定の柔軟な対応や参加へのアプローチや関わり、勉強会や家族会、テーマを決めての開催など、会議の参加を促すきっかけ作りの工夫を行うことで会議を身近に感じてもらい、多方面の参加がより多く得られ意見交換がなされることを期待します。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議に参加を要請し情報、意見など頂いております。施設の情報も発信しています。	運営推進会議において意見交換を行い情報の共有を行っており、市が主催する研修や案内などにも積極的に参加している。地域包括支援センターが主催する認知症カフェにも参加し日頃からの関係構築に努めている。	

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>施設内の勉強会において身体拘束の正しい理解をするように取り組んでいます。身体拘束委員会を開催し、身体拘束しないケアに取り組んでいます。</p>	<p>身体拘束防止委員会での取り組みや勉強会などの研修で、職員全員が正しく理解を深め日々のケアを実践している。拘束している状況で入所した利用者に対し、日々の関わりや寄り添う支援により落ち着いて暮らしに慣れていくことで拘束を外すことができた事例がある。よく話を聞き信頼関係の構築を意識している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>施設内での研修、勉強会、医療法人三宅会での勉強会にも参加し虐待について理解を深めています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>活用しておりません。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入所前に面接、見学を実施しております。また、契約時、サービス契約書の読み合わせをし解約、退所時の説明も合わせて行っています。そのうえで、署名、捺印を頂いています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>事前面談時の要望や面会時の意見などを取り入れ、玄関にアンケートボックスの設置し、家族様との懇談など努めてお話を聞くようにしております。</p>	<p>利用者に日々の関わりから意見を確認し、近隣スーパーへ買い物や家族へ電話の取次ぎなど行っている。家族には面会時に確認し、感染症の手洗いうがいの徹底や甘い物が好きだった方におやつなどで提供し喜んで頂いたり、パン食であった方に朝食をパン食にて提供するなど、できることにすぐ対応し実践している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>ミーティングでの意見交換時要望を聞く場としております。また、この意見や要望を三宅会での連絡会議に報告しており改善に反映しております。</p>	<p>毎月のミーティングにて意見交換や希望の確認を行い職員の意向を把握している。法人の会議にも報告し改善に繋げている。浴室の手すりが使いにくいことで柵の位置を変えたり、シャワーキャリーの購入、福祉車両への変更など改善し反映している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>就業規則を事務所に閲覧できる様設置しており、施設長、管理者は常に環境改善に留意しパワハラ、セクハラのない職場環境を図っております。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>医療法人三宅会との勉強会、外部研修への参加を積極的に取り入れております。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>認知症カフェなどを利用し、同業他社の方々とも交流できる機会を作り、意見交換等できるようにしています。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入所前の面接時に以前の生活環境等を聞き取りし、入居直後にはご家族様の協力を頂きながら、安心の確保に努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前の状況等をご家族様に十分確認し、ご家族様の要望と合わせ、ご利用様のご希望等も確認し、サービス利用開始をするよう心がけています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>事前面談時の要望や面会時の意見などを取り入れ、医療的ケアの必要性やリハビリ等も含め、関係各所と打ち合わせし、利用開始するようにしております。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>ご利用者様の尊厳を守り楽しく暮らせることを念頭に入れ受け入れしております。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>状況を把握し常にご家族様との情報共有に努力しています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>訪問しやすい施設を目指し、家庭と同じ雰囲気づくりに努めています。</p>	<p>駐車場を整備し来所しやすい環境を整え気軽に面会が行える様にし、来所時の声掛けも次回に繋がるように意識した内容にて実践している。昔の思い出の場所、馴染みの場への外出支援を行い、家族の協力を得ながら実施している。手紙や年賀状のやり取りも継続できるように支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	ご利用者様にはできるだけリビングに来ていただき、共同生活されるように見守りなどを行い支援できるように関わっています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約終了し退所後、三宅会の地域連携室や居宅介護支援事業所などと協力して相談や支援に努めています。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご利用者様、ご家族様との交流において情報を収集し、希望、要望に対処しています。	日々のケアや関わりを通して要望や意向を確認している。家族にもこれまでの生活や特徴を聞いて利用者の個性を十分に把握し引き出せるように努めている。確認の難しい方には家族の話から本人が喜ばれるものを一緒に考えていき提供している。利用者本位の支援がなされている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入所時の面談などを基にこれまでの生活に沿うよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日常生活の様子を記録、各人の状況を把握し、意思表示できないご利用者様には表情を読み取るよう対処しています。		

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>介護計画担当者は、管理者、看護師、施設長、担当医師、職員の意見を聞きご家族様にケアプランを提示しています。</p>	<p>計画作成者もケアに入り利用者との関わりや職員との情報共有を重ねることで利用者の状態を把握し、アセスメントや3ヶ月に1回モニタリングを行い、振り返りを基に作成している。勤務状況をみながら職員間での会議を実施し確認を行い、医療とも適宜連携を取りながら利用者本位の計画となるように取り組んでいる。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日勤者と夜勤者が申し送り事項を記録しており、朝・夕に申し送りを実施し情報の共有を図っています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>最良の支援ができるように、医療法人三宅会と連携強化を図っています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域との繋がりを絶やすことがないよう行事や会合に積極的に参加。敬老会、お祭りなど楽しんで生活出来る様に努めています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>医療法人三宅会の協力により訪問看護を行っています。以前からのかかりつけ医については職員同行のもと受診出来るようにしています。</p>	<p>利用者ももとの主治医が協力医であることや、週1回の往診があり、24時間連絡体制が整うこともありほとんどの利用者が協力医に変更されている。看護師が2名在中しており、専門家への受診、法人母体病院や訪問看護との連携が図られている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	介護職員は訪問看護師や看護職員と情報共有し的確な診療や介護ができる状態にしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	提携している医療法人三宅会のスタッフと情報共有をしています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることができることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入所時にご家族様に方針を説明し、ご本人様を交えながらお気持ちに沿った対応、支援を行います。	入居時に重度化に関する指針、看取りの指針を説明し意向も確認している。利用者の状態の変化に応じて主治医の説明を介して再度意向も確認している。訪問看護とも連携を図りながらカンファレンスにて検討しチームとしての支援の実践がある。今後は看取りの研修を充実させ更なる向上に意欲を持っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	マニュアルに沿った対応を心掛けるよう訓練し、急変時に備えています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	防火訓練を年2回以上実施しています。防災については地域との連携を図っています。年1回の町内会防災訓練に参加し、また防災会議にも参加しております。	年2回避難訓練を行い、内1回は夜間想定にて実施している。町内会の防災訓練、防災会議に参加し地域との協働にて避難や災害時の対策について共有しての活動がある。事業所近隣住民とも協力をお願いし、了承を得て備えをしている。備蓄も法人にて備えはあるが事業所でも備える意向である。	

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	ご利用者様を尊敬し接遇するように心掛け、各人のプライバシーに配慮しています。	毎年接遇研修を行い日々のケアに活かせるように意識し取り組んでいる。利用者の個人的な話は個室で行うことや部屋にノックや挨拶をして入ること、トイレ内での見守り支援が必要なケースにも本人の視界に入らないように立ち位置に配慮し本人が気にならないようにしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご利用者様の希望、要望を聞き入れるようにしています。また、難しい方にはご家族様を交え解決するよう努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	柔軟な対応を心がけ、ご本人様の情報をもとに要望にお応えしております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	定期的に調髪をし、季節に合わせてご家族様に洋服の手配をお願いしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	朝、昼、夕食とも医療法人三宅会の管理栄養士が献立し、食材は準備されたものを職員が調理しています。下準備などの手伝いをしていただいています。	事業所の菜園にて収穫した野菜を利用者の意向を聞きながら調理し大根を酢漬けにしたり、食べたい料理、食を身近に感じながら日々の生活の営みがある。三食準備された食材にて調理し提供しているが、食材は利用者にとってもらうなどできる部分は行ってもらう活躍がみられ役割にもなっている。	

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	健康状態を把握し摂取量をチェック、また水分、栄養など各人に合わせた支援をしています。		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	毎食後各人に合わせた口腔ケアを実施しています。		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	各人に合わせた排泄介助を実施していきます。	排泄記録表を基に個々の様子などタイミングをみながら個別に誘導を実施し、基本的にオムツをしないケアに取り組んでいる。夜間もなるべくトイレに誘導するなど、トイレにおいて自立支援がなされる様に尽力している。	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	便秘の原因を把握し、食事、水分の調整を心掛けています。なるべく薬の使用は避けています。		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	各人の入浴スケジュールを計画しています。体調に考慮して入浴の支援をしています。	週2回の入浴を基本に、入りたくない方やお風呂嫌いな方にも声かけの仕方や日にち、時間を柔軟に変更し無理強くないく勧め入浴の機会を持てるように支援している。夏の汗をかく時期には希望により回数を増やしたり、皮膚トラブルがある方にも保清のため回数を増やし対応することで改善に繋げている。	

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>夜間安眠出来るように日中はリ ビングルームで過ごして戴いたり 、外出支援をしています。生活リ ズムの構築に努めています。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>薬剤の効用、副作用、用量を把 握し、変更あれば申し送り事項 とする。記録を残し各人の確認 に努めています。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>ご利用者様の生活リズム、趣味 、思考など考慮し本人様らしい 生活の支援をしています。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かける られるように支援している。</p>	<p>気候に合わせた、散策、ドライブ 、買い物など希望に沿う支援を しています。</p>	<p>気候に配慮しながら日常的に近 所を散策しており、全員の利用 者が偏りなく行けるようにも配 慮がなされている。行事での外 出をはじめ、バラ祭りの時期に はバラ公園に行くことや初詣に 近くの神社に行くことも恒例と なっている。毎週公民館で行わ れるくわいカフェにも参加して いる。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	<p>入所者様・ご家族様の希望に沿 うよう必要に応じて対応してい ます。</p>		

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>希望に応じて支援をしています。ご本人様が難しい場合はこちらで対応、支援するようにしています。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共用スペースは常に清潔に保つことに努めリビング、廊下、階段にはご利用者様の作品などを掲示しています。お花などで季節感を出すよう努めています。</p>	<p>リビングには利用者で作った作品の掲示や季節の花が飾られており、季節感を感じることができアットホームな空間となっている。生ける花は職員が持参し利用者と一緒に生けることも楽しみとなっている。床暖房も備わっており寒い時期も温かく落ち着いて穏やかに過ごせる環境が整っている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>リビングが食堂も兼ねており、席の指定もしています。テレビの視聴やゲームなどを行っています。席の配置替えも適宜実施しています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入所時に使い慣れたものを持参していただき、居心地のいい空間にするように努めています。</p>	<p>使い慣れた物など自由に持ち込みもでき、家族からも昔の自宅での環境や過ごし方を詳細に伺い利用者本人が過ごしやすいように環境を整えている。写真や作品を飾ったり、好きな歌手のポスターを飾るなど利用者それぞれに思いや個性のある居心地良く過ごせる空間となっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>施設内に手すり、歩行器、歩行訓練ができるようにスペースをとっています。</p>		

V アウトカム項目(1F) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	理念を玄関、事務所に掲げ、理解するよう職員は心掛けております。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の行事に積極的に参加、町内会にも参加し交流を図っています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議等を通じて認知症の理解や支援への方法を共有しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議に市の職員、町内会長、民生委員、ご近所様、ご家族様に参加してもらい、施設の情報発信、アドバイスを受けております。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議に参加を要請し情報、意見など頂いております。施設の情報も発信しています。		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>施設内の勉強会において身体拘束の正しい理解をするように取り組んでいる。</p> <p>身体拘束委員会を開催し、身体拘束しないケアに取り組んでいます。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>施設内での研修、勉強会、医療法人三宅会での勉強会にも参加し虐待について理解を深めています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>活用しておりません。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入所前に面接、見学を実施しております。また、契約時、サービス契約書の読み合わせをし解約、退所時の説明も合わせて行っています。そのうえで、署名、捺印を頂いています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>事前面談時の要望や面会時の意見などを取り入れ、玄関にアンケートボックスの設置し、家族様との懇談など努めてお話を聞くようにしております。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	ミーティングでの意見交換時要望を聞く場としております。また、この意見や要望を三宅会での連絡会議に報告しており改善に反映しております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	就業規則を事務所に閲覧できる様設置しており、施設長、管理者は常に環境改善に留意しパワハラ、セクハラのない職場環境を図っております。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	医療法人三宅会との勉強会、外部研修への参加を積極的に取り入れております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	認知症カフェなどを利用し、同業他社の方々とも交流できる機会を作り、意見交換等できるようにしています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入所前の面接時に以前の生活環境等を聞き取りし、入居直後にはご家族の協力を頂きながら、安心の確保に努めています。		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前の状況等をご家族様に十分確認し、ご家族の要望と合わせ、本人のご希望等も確認し、サービス利用開始をするよう心がけています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>事前面談時の要望や面会時の意見などを取り入れ、医療的ケアの必要性やリハビリ等も含め、関係各所と打ち合わせし、利用開始するようにしております。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>利用者様の尊厳を守り楽しく暮らせることを念頭に入れ受け入れしております。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>状況を把握し常に家族様との情報共有に努力しています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>訪問しやすい施設を目指し、家族の家庭と同じ雰囲気づくりに努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者様にはできるだけリビングに来ていただき、共同生活されるように見守りをし、職員は支援できるように関わっています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約終了し退所後、三宅会の地域連携室や居宅介護支援事業所などと協力して相談や支援に努めています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様、ご家族様との交流において情報を収集し、希望、要望に対処しています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入所時の面談などを基にこれまでの生活に沿うよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日常生活の様子を記録、各人の状況を把握し、意思表示できない利用者には表情を読み取るよう対処しています。		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	介護計画担当者は、管理者、看護師、施設長、担当医師、職員の意見を聞き御家族様にケアプランを提示しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日勤者と夜勤者が申し送り事項を記録しており、朝・夕に申し送りを実施し情報の共有を図っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	最良の支援ができるように、医療法人三宅会と連携強化を図っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域との繋がりを絶やすことがないよう行事や会合に積極的に参加。敬老会、お祭りなど楽しんで生活出来る様に努めています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	医療法人三宅会の協力により訪問看護を行っています。以前からのかかりつけ医については職員同行のもと受診出来るようにしています。		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	介護職員は訪問看護師や看護職員と情報共有し的確な診療や介護ができる状態にしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	提携している医療法人三宅会のスタッフと情報共有をしています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入所時にご家族様に方針を説明し、ご本人様を交えながらお気持ちに沿った対応、支援を行います。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	マニュアルに沿った対応を心掛けるよう訓練し、急変時に備えています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	防火訓練を年2回以上実施しています。防災については地域との連携を図っています。年1回の町内会防災訓練に参加また防災会議にも参加しております。		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入所者様を尊敬し接遇するように心掛け、各人のプライバシーに配慮しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	入所者様の希望、要望を聞き入れるようにしています。また、難しい方にはご家族様を交え解決するよう努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	柔軟な対応を心がけ、ご本人様の情報をもとに要望にお応えしております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	定期的に調髪をし、季節に合わせてご家族様に洋服の手配をお願いしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	朝、昼、夕食とも医療法人三宅会の管理栄養士が献立し、食材は準備されたものを職員が調理しています。下準備などの手伝いをしていただいています。		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	健康状態を把握し摂取量をチェック、また水分、栄養など各人に合わせた支援をしています。		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	毎食後各人に合わせた口腔ケアを実施しています。		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	各人に合わせた時間経過により声掛けを行い、排泄介助を実施しています。なるべくトイレでの排泄を支援しています。		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	便秘の原因を把握し、食事、水分の調整を心掛けています。なるべく薬の使用は避けています。		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	各人の入浴スケジュールを計画しています。体調に考慮して入浴の支援をしています。		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>夜間安眠出来るように日中はリビングルームで過ごして戴いたり、外出支援をしています。生活リズムの構築に努めています。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>薬剤の効用、副作用、用量を把握し、変更あれば申し送り事項とする。記録を残し各人の確認に努めている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>入所者様の生活リズム、趣味、思考など考慮し本人様らしい生活の支援をしています。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>気候に合わせた、散策、ドライブ、買い物など希望に沿う支援をしています。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>入所者様・ご家族様の希望に沿うよう必要に応じて対応しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>希望に応じて支援をしています。ご本人が難しい場合はこちらで対応、支援するようにしています。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共用スペースは常に清潔に保つことに努めリビング、廊下、階段には入所者様の作品などを掲示しています。お花などで季節感を出すよう努めています。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>リビングが食堂も兼ねており、席の指定もしています。テレビの視聴やゲームなどをしています。席の配置替えも適宜実施しています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入所時に使い慣れたものを持参していただき、居心地のいい空間にするように努めています。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>施設内に手すり、歩行器、歩行訓練ができるようにスペースをとっています。</p>		

V アウトカム項目(2F) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム新涯

作成日 2020(令和2)年4月18日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	3	会議の参加者の偏り、テーマの工夫。	多方面の参加がより多く得られるようにする。	日時の検討。当法人の各部署へ講師等の依頼等、参加しやすい環境を整える。	1年
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。